

土木工学・建築学委員会企画分科会  
環境工学連合小委員会（第 25 期・第 8 回）  
議事要旨

日 時：令和 5 年 8 月 31 日（木）10:00～12:00

会 場：Zoom 会議（主催会場：国立環境研究所）

出席者：

浅見、田辺、森口、中井、一ノ瀬、廣吉、小澤、高島、大河内、藤井、党、秋元、小林、佐野、石森

オブザーバー：村山、（化学工学会前委員）、加用（日本 LCA 学会次期委員）、松山（日本機械学会次期委員）、佐藤（日本水環境学会次期委員）、木村（化学工学会事務局）、河瀬（日本化学会事務局）、白鳥（日本建築学会事務局）、龍（日本鉄鋼協会事務局）

配布資料

資料 1 環境工学連合小委員会（第 25 期・第 7 回）議事要旨

資料 2 第 35 回環境工学連合講演会の開催報告

資料 3 第 36 回環境工学連合講演会の企画案

資料 4-1 小委員会活動の継承と検討課題

資料 4-2 第 37 回環境工学連合講演会のテーマ案について

資料 5 環境工学連合小委員会委員名簿

議 題

議事に先立ち、定足数を満たしていることが確認された。

（1）前回議事要旨の確認

・資料 1 に基づき、森口委員長から報告があった。

（2）第 35 回環境工学連合講演会の開催報告

・資料 2 に基づき、日本建築学会 秋元委員より報告があった。参加人数：オンライン 359 名、現地 59 名であり、総合テーマの意図に沿った未来志向の学術交流の在り方の一形態を提示することができた。

（3）第 36 回環境工学連合講演会の企画概要

・資料 3 に基づき、化学工学会の村山前委員から説明があった。講演会テーマ案は「持続可能で強靱な社会への変革に向けて」である。開催日は、2023 年 5 月 28 日（火）を第一候補

とし、5月21日（火）を第二候補とすることになった。前回と同様に、予稿集は印刷せずに pdf ファイルの無料配布とする。

（4）第26期への小委員会活動の継承および検討課題について

・資料4-1に基づき、森口小委員長より説明があった。第25期の期末は2023年9月末であり、10月から第26期に移行するが、第26期も本小委員会を継続設置したい。小委員会の設置は、委員会、分科会の設置後となるため、手続きに時間を要する。そのため来年1から2月ごろに本小委員会の「準備会」として開催する予定。

・懸案課題となっていた「過去の講演会の開催内容などの活動記録の蓄積・公開」について、資源・素材学会から協力の申し出があったことが委員長から報告され、同学会事務局と調整を進め、作業を進めることとした。

（5）第37回環境工学連合講演会のテーマ案について

・資料4-2に基づき、日本機械学会 松山委員より説明があった。「先進サステナブル社会における環境工学の役割」、「カーボンニュートラル実現に向けた環境工学の役割」の2案が紹介され、これに対しての意見交換を行った。最終案を2024年1から2月ごろの準備会において決定する。

（6）次期の委員選出について

現時点での次期委員予定について確認を行った。各学会は今期末（9月末）を目途に次期の委員を選任する。

（7）その他

・各委員の所属学会における講演会、委員会等の開催形式を報告してもらい、今後の講演会開催の在り方について検討した。多くの委員から「ハイブリッド形式」の継続が望ましいという意見があった。

・浅見委員、田辺委員より学術会議における議論の様子や、本小委員会の重要性についてコメントを頂いた。